

事業報告

ワクワクする図書館こどもワークショップ

1 事業の目的

本を読むだけではなく、学校や家庭以外の安心して過ごせるサードプレイスとして、子どもたちの新たな居場所になる図書館とはどんなところか、どうしたら実現できるか、ワークショップとディスカッションを通じて考えていく。

2 事業実施概要

(1)事業名

ワクワクする図書館ってなんだろう？ こどもワークショップ

(2)実施事業の目的

子どもたちと一緒にワクワクする図書館のカタチを描くワークショップを行い、子どもたちの図書館への期待やイメージが詰まったアイデアを、オープンプラットフォーム会議で発表する。

(3)実施概要

実施日時：令和3年10月30日(土)10:00～12:00

実施場所：別府市美術館

主催：別府市教育部教育政策課

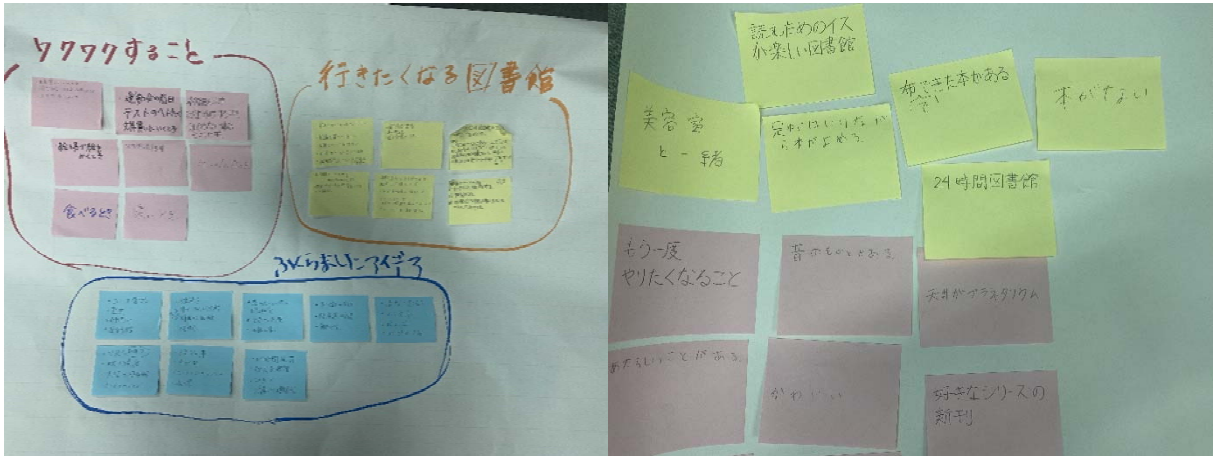
運営企画：株式会社オープン・エー、みんなの教室、アソビLAB

参加者：小学5年生～中学2年生 計11名

(4) 実施状況



ワクワクすることと行きたくなる図書館を掛け合わせてアイデアを練る



チームごとにアイデアを話し合い、模造紙にまとめる



タブレットで発表資料をつくる

チームごとに発表する

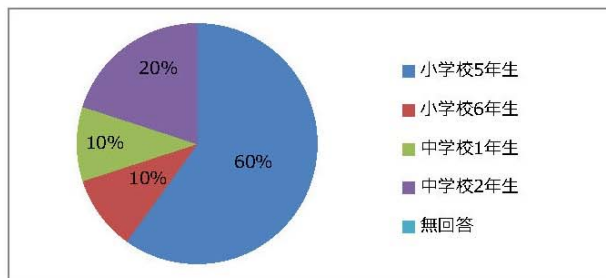
発表内容は、オープンプラットフォーム会議 vol.7 開催報告にまとめる。

3 事業実施結果

(1) 参加者アンケート (n=10)

1. 何年生ですか？

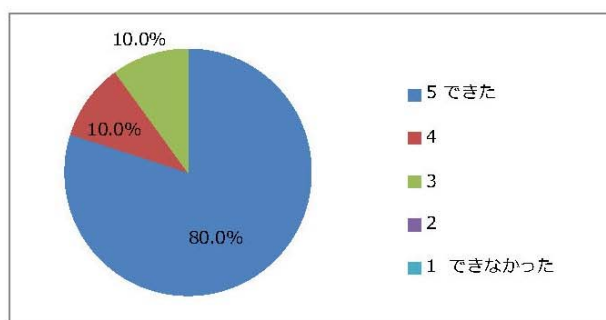
項目	回答数	%
小学校5年生	6	60.0%
小学校6年生	1	10.0%
中学校1年生	1	10.0%
中学校2年生	2	20.0%
無回答	0	0.0%
小計	10	100.0%



- ・小学校5年生の参加者が過半をしめた
- ・小中学生の他学年の生徒同士が交わって、一緒に考える機会につながった

2. 今日のワークショップで新しい図書館について考えることができましたか？

項目	回答数	%
5 できた	8	80.0%
4	1	10.0%
3	1	10.0%
2	0	0.0%
1 できなかった	0	0.0%
小計	10	100.0%



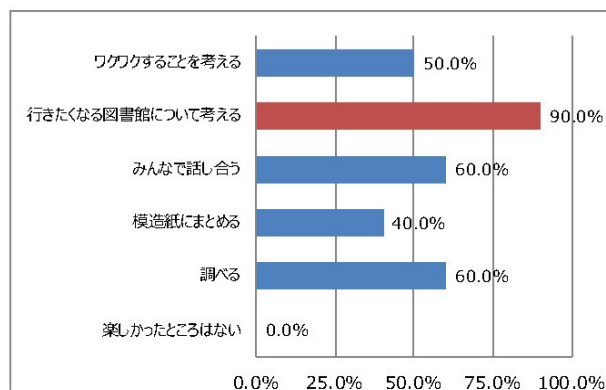
- ・「5 できた」という人が7割を超えた
- ・質問3の回答と合わせて、自分でいろんなアイデアを考えることができたこと、みんなで考えられたことが、参加者の達成感につながっている

3. なぜそう思いましたか。

- ・3班や2班の意見を聞いて新しい見方ができたから
- ・最初は考えてなかった自然というものが入った図書館が想像できたから
- ・私達は自然のことで考えたので自然のことなどをたくさん考えられたので
- ・想像をふくらませることができたから
- ・みんなでできたから
- ・たくさんの意見を言うことができたから
- ・いろんなアイデアを出しみんなで楽しめた
- ・自分がたくさんアイデアを出せたから
- ・ふせん（アイデア）がたくさん出たから
- ・いろいろな案が出たから

4. 今日のワークショップでは何が楽しかったですか。(複数回答可)

項目	回答数	%
ワクワクすることを考える	5	50.0%
行きたくなる図書館について考える	9	90.0%
みんなで話し合う	6	60.0%
模造紙にまとめる	4	40.0%
調べる	6	60.0%
楽しかったところはない	0	0.0%
回答者数	10	

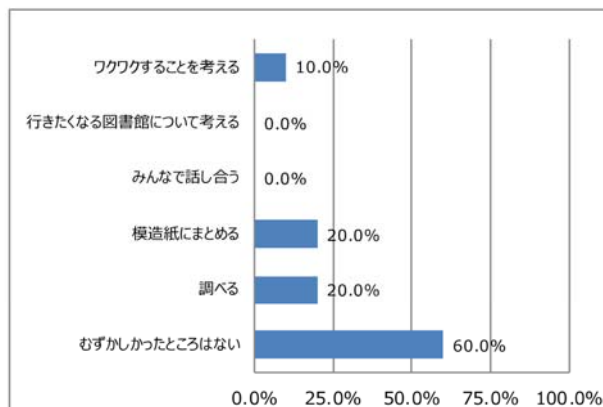


- ・「行きたくなる図書館について考える」が8割を超え、「みんなで話し合う」「調べる」など、多岐にわたるワークプログラムが、参加者の楽しさにつながっていると考えられる

5. 今日のワークショップでは、何がむずかしかったですか。(複数回答可)

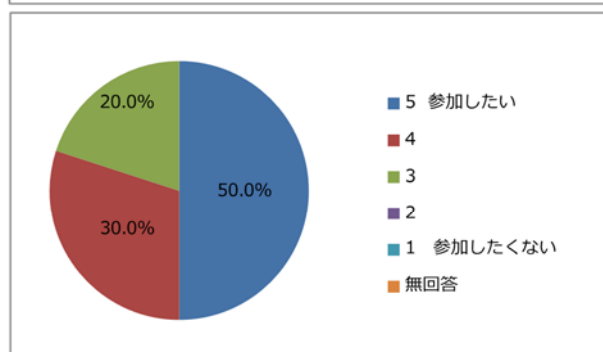
項目	回答数	%
ワクワクすることを考える	1	10.0%
行きたくなる図書館について考える	0	0.0%
みんなで話し合う	0	0.0%
模造紙にまとめる	2	20.0%
調べる	2	20.0%
むずかしかったところはない	6	60.0%
回答者数	10	

- ・「むずかしかったところはない」が半数を占めた。
- ・「模造紙にまとめる」「調べる」が難しいと感じる参加者もいる。



6. 同じようなワークショップがあったら、また参加したいですか。

項目	回答数	%
5 参加したい	5	50.0%
4	3	30.0%
3	2	20.0%
2	0	0.0%
1 参加したくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
小計	10	100.0%



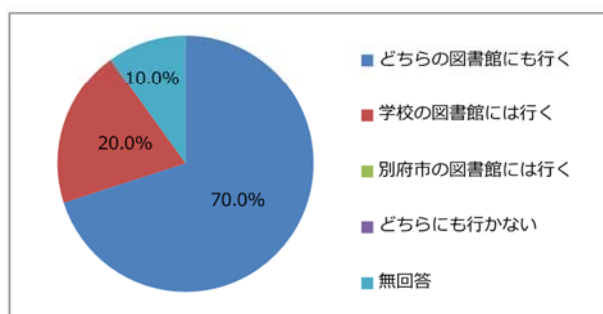
- ・「5 参加したい」「4」が7割を占めた。
- ・質問7の回答と合わせて、みんなで考えることや行きたくなる図書館を考えると楽しかったという意見が多く、今後もワクワクする図書館を子どもたちと一緒に考えていきかけになった。

7. なぜそう思いましたか。

- ・新しいものをつくるのにいろんな人と意見交換できたから
- ・新しいことを考えられたからもっと視野を広げたい
- ・今日は友だちに誘われたので、また機会があれば行きたい
- ・行きたくなる図書館について考えるのが楽しかったから
- ・たのしかったから (4人)
- ・別府市にたくさん行きたくなる図書館をつくりたいから
- ・いろんな人の意見を聞きたい

8. 学校の図書館や別府市の図書館に行きますか？

項目	回答数	%
どちらの図書館にも行く	7	70.0%
学校の図書館には行く	2	20.0%
別府市の図書館には行く	0	0.0%
どちらにも行かない	0	0.0%
無回答	1	10.0%
小計	10	100.0%

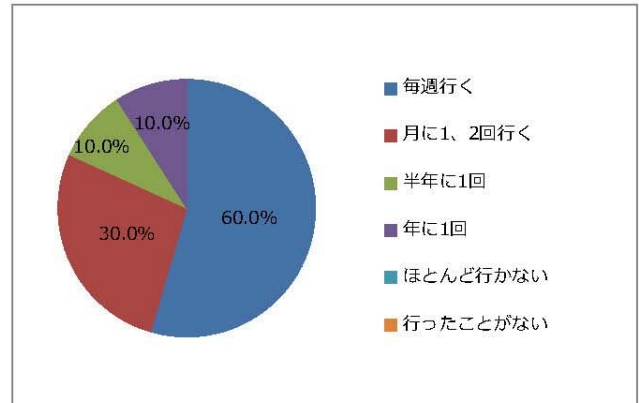


- ・「どちらの図書館にも行く」が6割を超えた。
- ・普段から図書館に行く生徒が参加した。

9. 図書館に行く回数を教えてください。

項目	回答数	%
毎週行く	6	60.0%
月に1、2回行く	3	30.0%
半年に1回	1	10.0%
年に1回	1	10.0%
ほとんど行かない	0	0.0%
行ったことがない	0	0.0%
無回答	1	10.0%
回答者数	10	

・「毎週行く」が過半を占め、よく図書館を利用する生徒が参加した。

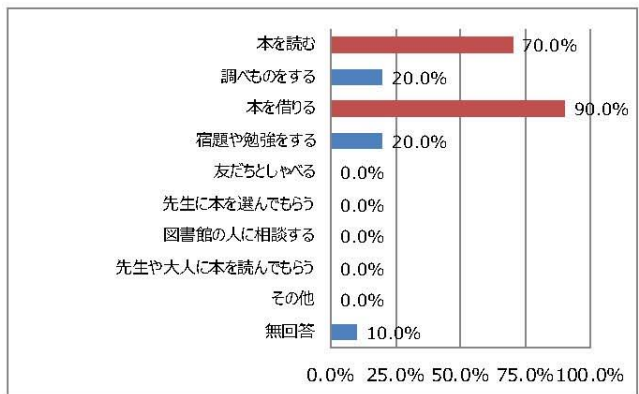


10. 図書館には何をしに行きますか？（複数回答可）

項目	回答数	%
本を読む	7	70.0%
調べものをする	2	20.0%
本を借りる	9	90.0%
宿題や勉強をする	2	20.0%
友達としゃべる	0	0.0%
先生に本を選んでもらう	0	0.0%
図書館の人に相談する	0	0.0%
先生や大人に本を読んでもらう	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	10.0%
回答者数	10	

・「本を借りる」が8割、「本を読む」が6割を超えた。

・一方、「先生に本を選んでもらう」「図書館の人に相談する」などレファレンスは利用していない。



11. 新しい図書館で「こんなことやりたい!」「やってほしい!」と思うことを教えてください。

- ・マンガの貸し出し
- ・問題集とかおいてほしい、自習スペースがほしい、VR体験、飲食、プロジェクターで短編映画をみる（別室）、24時間365日営業
- ・運動できる図書館、24時間営業、題名がわからなくても本が出てくる（イメージだけで）
- ・植物をたくさんおく、中庭をつくる
- ・個室をつくる、ipad貸し出し、ひまつぶしができる、中庭
- ・季節の飾りをつくる、友達としゃべりながら本を読む、本の感想を言い合う
- ・とくにない。(2人)

(2) 今後の検討課題

ワークショップで出た子どもたちのアイデアは、これまでの図書館の概念を超えた魅力的なアイデアであり、図書館との親和性も高いものであった。自分たちが行きたいと思う図書館を、自ら考えアイデアを膨らませて、チームで話し合うという達成感が、参加者の満足度にも表れていた。また参加したいという子どもも多く、繰り返しこうした場を積み上げていくことによって、図書館を自分たちの居場所、学びや成長の場と捉える子どもたちも増えていくと考えられる。タブレットを使い、スムーズにインターネットで調べ、画像等で魅力的な発表資料をつくっていた。今後はデジタルツールなども活用しながら、HP等で公開したり、記録として図書館に残していくこともできるだろう。